主な記事

- ・スマ農導入「コスト面」が課題 2面
- ・水稲の高温耐性品種作付け拡大 3面
- ・技能検定試験問題と正解 4-5面
- ・KBL バッテリー新商品発売 7面

第 7 4 5 号



昭和38年8月20日第三種郵便物認可

令和7年4月15日(火曜日) 毎月1回15日発行

発 行 所 全国農業機械商業協同組合連合会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 2 の 6 東京都千代田区神田佐久間町 2 の 6 森芳ピル 4 階 電話03 (3863) 7788代 編集発行人 田中宏樹 FAX03 (3863) 7785 購読料 1 カ月100円(送料共) URL http://www.zennouki.org

貨物自動車運送事業法で定められている運送事業

	貨物事業運送事業					
	一般貨物自動車	特定貨物自動車	貨物軽自動車			
	運送事業	運送事業	運送事業			
事業内容	他人の要求に応じて	特定の人の要求に応じて	他人の要求に応じて			
	自動車で貨物を運送する	自動車で貨物を運送する	軽自動車などで貨物を運送する			
例	トラック運送業など	メーカーや商社など特定の 1社の荷物だけを運ぶ系列会社	通販サイトで販売しているような 比較的小さい貨物を運ぶ 軽バンや軽トラック			
対象となる車両	軽自動車と二輪自動車以外の	軽自動車と二輪自動車以外の	軽自動車や125cc超えの			
	自動車	自動車	自動二輪車			
許認可	国土交通省の許可制	国土交通省の許可制	国土交通省の許可制			

(出所:国土交通省)

組合員の要望を受けて がないにも関わらず、 現実と乖離していることが明らかとなった。 機運搬の需要は今後も増えることが予想される中、法律が農業現場の 単に農機を農地に運搬するケースは全国各地の農機店でも行われてい 長野県のJA上伊那 法律で定める資格 有償で行う場合は事業者許可が必要となる。高齢化が進み、農 っていたことが3月27 コンバインなどを運送 し、その費用を受け取

8年5月から24年9月 人と農業法人の27の取 までの間に、職員が個 伊那によると、201

る可能性がある。白ナ 許可を得ずに自家用車 ンバーというと、営業 車運送事業法に違反す われており、貨物自動

引先から、田植機やコ しいと頼まれ、32件分 ンバインを運搬して欲 の代金38万円余りを受

白ナンバー営業とも言 償で請け負うことは、 け取っていた。

がサービスの一環とし う場合は状況によって ないとしており、受け 取った費用を組合員に を認識していた訳では 悪意による無許可営業 法律違反となる。 て行ってきたことで、 JA上伊那は、

事業者許可なければ法律違反の可能 性

搬していたと、3月後半に各メディアが報じた。修理や整備ではなく、 長野県のJA職員が、組合員の農機を法的資格がないまま有償で運

倉庫から農地」・「農地から農地」違反となるケースは「農家の自宅や 運送業を許可なく有 返すとともに、関係者 とのこと。 には厳正な処分を行う

う、いわゆる白タクが でタクシー営業を行

現在、運搬業務を行っ ることが想定される。 や農地集積が進み、農 可がなければ違反とな 当するため、事業者許 自動車運送事業法に該 運搬する場合は、貨物 地から農地」へ有償で から農地」または「農 が、単に「農家の自宅 法律違反にならない 運送業の対象外となり 入・搬出)する場合は の整備場」間を移動(搬 くは農地」と「農機店 時に「農家の自宅もし 機運搬への要望は増え 今後、農家の高齢化 農機修理や整備点検 処罰の対象にな おり、 いる。 うことについて、すで 運支局に「一般貨物自 制緩和について、業界 送事業の分野において のために有償輸送を行 おける「人の輸送」は、 れる可能性がある。 ナンバー) する農機運搬向けの規 も、農村地域を特例と 同法の対象外となって に構造改革特区として NPO法人などが福祉 動車運送事業」を申請 いないと、取り締まら し、事業者ナンバー(緑 今後は貨物自動車運 全国展開されて 道路運送法に を取得して

として省庁への要望を 有名だが、農機などの 貨物運搬も、有償で行 検討する必要がある。 YANMAR "高精度"な作業を、より「ラク」に。 田植えのイメージを一新する、 YR-DAシリーズ。 田植えの大幅な省力化・低コスト化を実現するヤンマーの「密苗」技術はもちろん。 最大掻き取り量は従来の田植機と比較して20%アップ 密苗×ICT技術を駆使した4つのアシスト機能によるサポートで、 労力もコストも低減します。 苗取量を自動制御 施肥量 ラクなのに高精度! 感度 アシスト **4**つの アシスト 施肥量を自動制御 アシスト機能 植付け深さを自動制御 直進 アシスト 自動でまっすぐ直進 SMART PILOT 4 series 対応 5DA / 6DA / 7DA / 8DA ヤンマーアグリ株式会社 www.yanmar.com れる。熱中症による死 た。6月1日に施行さ する改正省令を公布し 付きで事業者の義務と

熱中症の自覚症状や疑

安全配

虚義務

義務化の内容は、①

る可能性がある。 円以下の罰金が科され

いのある人がいた場

報告するための連

いる規定「労働基準法

ち、刑事上の責任にお

責任が生じる。このう

遅れ、異常時の対応の 不備が目立っており、

事例分析では発見の

同省の死

野務化は

初期症状の

早

からの離脱、身体の冷 ごとに定める、②作業 絡先や担当者を事業所

所における業務による 2」には、「暑熱な場 施行規則別表第1の

熱中症」の記載がある

法には「企業は元来、 違反が関係するが、同 いては労働安全衛生法

企業や現場管理者

今回の省令改正は熱

農林水産省は3月19 2025年産の1

積は128万2000

診で前年から2万30

飼

用米35道

食用米19道

さ指数28以上または気

義務化の対象は、暑

容や手順を事業所ごと の悪化防止に必要な内

ので、

現時点でも熱中

症は条件を満たせば、

労災認定される可能性

られており、措置を怠

慮義務がある」と定め 従業員に対して安全配

なかった事実が安全配 り、十分な対策を講じ は作業中の観察を怠

でも安全配慮義務につ

機に、会社を守る意味

月末時点の作付け意向

いて考えてみてはいか

主食用米は19道県が増 調査結果を公表した。

傾向は4県。 並みは24都府県、 00 診増加した。

別で は

方

飼料用米

35

加意向を示し、

慮義務違反と判断され

がだろうか。

稲作(北海道)

稲作(都府県)

畑作

露地野菜

施設野菜

施設花き

全

厚生労働省は4月15

を怠った場合、6カ月

以下の懲役または5万万

り得る。労災補償の対

④補償上の責任、⑤社

象疾病の範囲を定めて

会的な責任、

の5つの

熱中症は労災認定にな

に関わらず、業務中の

の責任、②民事上の責

③行政上の責任、

合、企業には①刑事上

災害などが発生した場 配慮義務がある。死亡

ただ、今回の義務化

たは1日4時間を超え

る。

る、の3点が柱とな容を労働者に周知す

また、企業には安全

る作業。事業者が対策

温31度以上の環

熱中症対策を罰則

農

434.8%

スマート農業の業種別導入状況

43.3%

44.9%

43.2%

36.3%

①ハード導入済 ②ソフト導入済 ③両方導入済 ④未導入だが意向あり

5.0%

28.8% 314.7%

55.4%

49.2%

121.4%

23.7% 10.3% 9.3 4.1% 22.7% 9.3% 6.7% 6.7%

導入済

⑤未導入で意向なし (出所:農林水産省)

%だった。政府は2025年までに農業の担い手のほぼ全てがデータ 業に関する特別調査を行ったところ、スマート農業の導入率は4・9 を活用した農業を実践することを目標としているが、目標に達しない などコスト面の問題がある。 ことがほぼ確実となった。普及が進まない要因には、導入費用の高さ 日本政策金融公庫が担い手農業者を対象に、今年1月にスマート農

入率が高い >業種別では畑作の導 | 2%)が、畜産では、

68・7%と稲作(北海道 業種別の導入率を見 かった。

55·4%·都府県49· 果樹(22・7%)、

都府県43・2%) が高 酪農(北海道43・8%・ 方、茶(23・7%)、 きの 前半にとどまった。 率は、いずれも20%台 は44・3%が 樹は53・2%、 だ、茶は44・3%、果 「導入し きのこ

のと医師が診断し、 僚に対して気分不良を た従業員は事故前に同 になった判例がある。 の病院で死亡し、 の従業員が作庭や剪定 訴えていたにも関わら 災認定された。 が損害賠償を追うこと 作業中に熱中症によっ 死因が熱中症によるも て意識を失い、 反とみなされる。 死亡し 搬送先 労 得る。 の因果関係が認められ は通勤中に生じる「通当するが、労働災害に れば、労働災害になり た場合、台風や大雪と 勤災害」もある。台風 を追うことになった。 じ、通勤中に怪我をし や大雪時に出勤を命 害の「業務災害」に該 遺族が損害賠償を起こ このケースは労働災

> すること ▽スマート農業に期待 期待することの1位

肥料等資材の使用削 減」(40・7%)との回

た

畜産では「生

る」としている。 ていないが、意向はあ

た。この他、全体では ての業種で最も高かっ は「農作業の省力化」 (43・6%)、「農薬・ (83・1%) で、すべ 「品質・収量の向上」

こ 20 0 %

の導入

答が高かった。 産管理・経営マネジメ 作業の省力化」に次い ントの効率化」が「農

業種で最多だった。次 は、「初期投資費用 課題で最も高かったの 際しての課題 ▽スマート農業導入に 高い」で79・0%。

高かった。 と比べて高くなった。 育が難しい」が他業種 卵鶏では、「人材の教 他業種と比べて高く、 では「圃場や施設が技 県)、露地野菜、施設野 茶、きのこ、養豚、 術導入に適さない」 菜、茶、果樹、施設花き この他、稲作

ることを勧めている。

ることとしている。

熱中症対策を義務付け 月1日から罰則付きで 問わず、全事業者に6

方法を身に着けるた

でも正しい知識と操作 林水産省は、家族経営

め、労働安全衛生法令

に基づく研修を受講す

で高かった。

故を含む7件の死傷事

5月から7月を一熱中

農林水産省では、

症対策研修実施強化期

2月は3件の死亡事

▽5月のワンポイント

2025年2月に発生した

作業死傷事故は 5件

《農水省》

い」(17・7%)の順に トが高い」(34・7%)、 いで「ランニングコス 「データの活用が難し 全 るが進捗率は低い。 7%。毎年増えては 対象に毎年行ってい 年26・1%、24年27・ %、22年23・3%、 る。この調査による 農業構造動態調査があ 経営体は、21年20 農業経営を行ってご 率は2割台で推移 が、スマート農業の 者を対象としたもの と、データを活用. 人状況を把握する指 には、全農業経営体 とした調査による 本調査は担い手農 いる いる

の受講義務がある。農

は、「特別教育」など

る傾向にある。なお、

搬送される方が急増す いため、熱中症で救急 体が暑さに慣れていな

労働安全衛生規則を改 厚生労働省は4月中に

正し、法人・家族経営

被雇用者が行う場合

しているが、コスト面 技術の活用拡大を促進 よるため、担い手のみ 台で低迷している。 いえ、依然として? 導入率が低くなると を対象とした調査上 性は経営規模などに 性は経営規模などにもスマート農業の必要

が障害となっている

◆全農業経営体を対 クリフトの運転などを 作やその補助、フォー なっている。 らの転落事故が1件と の事故が2件、屋根か 機能が付いた機械の操 事故の内訳は、運搬車 故が報告された。死亡

運搬車でもクレーン

り気温が上昇すること

があるが、この時期は

特に、近年はゴールデ 間」に設定している。

ンウイーク前後にかな

b ほ で、 加傾向はゼロ。作付面 00 診減少した。減少 し、前年並み11県で増 道府県が減少傾向を示 前年から1万40 は8万5000診 一用品種への転換を促し 要因は値上がりした主 への助成を減額し、専 食用米との価格差のほ は24年産から一般品種 飼料用米の助成金

(2) 11 (10)13 (18)ており、この影

(20)出所:農林水産省資料 もある。 3万トンだが、 響が出た可能性 正生産量は68 25年産米の適

)は前年同時期の作付け意向 と生産量は69 のままだとする 調査の作付面積 だった場合、今

前年並み (30)(17)

前年より 減少傾向 り、適正生産量 を上回ることに 1万トンとな

県で増加 府県で減 日本はほとんどの思 前年並みだった。 ずれも増加傾向で、 北陸の主産地は 東北、関東、 小 の県では 県が 西い湯 2025年産水田の作付け意向(24年産実績比較・25年1月末現在) 転作作物 主食用米

19 11 (5) (3) (17)(5) 9 24 21 11

飼料用米 麦 大豆 前年より 増加傾向 (19)(16)4 27 35 13 (25)(11)(11)

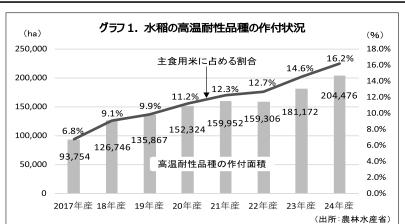
同省によると、

作況が平年並み

万4476 %となり、

(4476紗となり、過去最高となったことが農林水産省の調査でわ2024年産水稲の高温耐性品種の作付面積が、前年比13%増の20

高温耐性品種が主食用米に占める割合も16%で過去最



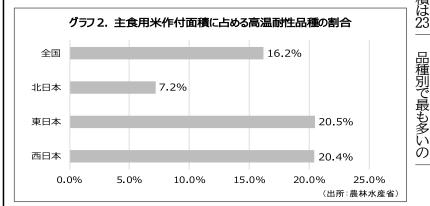


表1. 主な高温耐性品種の作付状況

	242. 22.04		11 13 2/20	
品種名	24年産作付面積	23年産作付面積	増減率	主な産地
きぬむすめ	22,980	22,458	102.3%	島根県・岡山県・鳥取県
こしいぶき	18,400	18,400	100.0%	新潟県
つや姫	17,996	17,871	100.7%	山形県·宮城県·島根県
とちぎの星	12,348	8,500	145.3%	栃木県
ふさこがね	11,300	11,700	96.6%	千葉県
にこまる	8,122	7,589	107.0%	長崎県・岡山県・愛媛県
あきさかり	7,800	7,794	100.1%	広島県・徳島県・福井県
彩のきずな	7,400	6,900	107.2%	埼玉県
さがびより	6,760	6,220	108.7%	佐賀県
元気つくし	6,360	6,310	100.8%	福岡県
なつほのか	6,207	5,287	117.4%	大分県・長崎県・鹿児島県
はれわたり	6,200	2,200	281.8%	青森県
ハナエチゼン	6,100	6,100	100.0%	福井県
にじのきらめき	5,874	3,575	164.3%	茨城県・静岡県・新潟県
雪若丸	5,602	4,545	123.3%	山形県
夢しずく	5,550	5,750	96.5%	佐賀県
新之助	5,200	4,500	115.6%	新潟県
くまさんの輝き	3,355	2,910	115.3%	熊本県
富富富	2,496	1,640	152.2%	富山県
その他	38,426	30,923	124.3%	
計	204,476	181,172	112.9%	
主食用米作付面積	1,259,000	1,242,000		
主食用米に占める割合	16.2%	14.6%		

(出所:農林水産省)

ン

年産から急増し、

める割合は関東以西で 農林水産省は「夏の

昨年から各都道府県に 聞き取り調査を行って 録的高温に係る影響 同調査による 関東以西では20%を超 でブランド米育成に注

県育成の 「つや姫」 1万7 「とちぎの

性米への切り替えや水管理の徹底など高温対策が進められている。 えた。作付面積の増加 主食用米に占 県・岡山県・鳥取県で 位は新潟県育成の 作付けが多かった。2 2万2980%。 「きぬむすめ」 1万840

3位は山形県育 若丸、 んの輝き」 %。この他、 ち ぎの星 熊本県「くまさ 新潟県「新之 山形県「雪

自のブランドが増えて ▽23年産と比べた取組

栃木県育成の 同145 ع 品種等の導入」(12府 徹底」(8県) つ

(9県)、「施肥管理の が多か る取組として、

% の導入・転換」(20%) 刈取の徹底 「高温耐性品種等

は、最多が青森県の「は 育成の「ふさこがね」 作付面積の増加

82%の6200於。 れわたり」で前年比2 「にじのきらめき」 農研機構育成の 富山県育成 同

「富富富」同152 答可 適応策では、 適応策の取組 水稲への影響に対する 対果のあった水稲の 記録的な高温による 高温耐性 (複数回

組めなかったと思わ

23年産よりあまり取り

た。 % 施肥管理の徹底」(47 の3項目が多か

まで増加した。 700診・主食用米に 万2936診と4・85 割合は14・7% 10年に3万7 24年産米の

れる取組を聞いたとこ 状 況 り組まれていたと思わ 率が23年産米よりも高 |水管理の徹底」(53 (良い) と回答した (複数回答可) 23年産より取 一等米比



報

全

購買情報

ヤマト自動車





アイウッド





購買情報

ケービーエル







JIS 規格	国産車用	無補z	kst						
0.0	TYPE	5時間率 容量(Ah)	CCA(A)	L	MET W	M(mm)	TH	RM (MKg)	9250
50B19L	SMF	30	370	187	127	200	219	9.0	2年4万キロ
50819R	SMF	30	370	187	127	200	219	9.0	2年4万キロ
70824L	SMF	38	470	234	127	200	219	11.6	2年4万キロ
70824R	SMF	38	470	234	127	200	219	11.6	2年4万キロ
90023L	SMF	50	580	230	172	200	220	15.0	2年4万キロ
90023R	SMF	50	580	230	172	200	220	15.0	2年4万キロ
100026L 100026R	SMF SMF	54	645	257	172	200	220	17.2	2年4万丰口
120031L	SMF	54 68	645 750	302	172	200	220 220	17.2	2年4万キロ 2年4万キロ
120031R	SMF	68	750	302	172	200	220	20.0	2年4万十口
135E41L	SME	80	800	405	173	211	231	25.1	2年4万丰口
135E41R	SMF	80	800	405	173	211	231	25.1	2年4万キロ
155F51	SMF	92	870	504	182	210	233	33.5	2年4万キロ
175F51	SMF	96	900	506	182	210	233	34.4	2年4万十口
205051	SMF	120	1050	504	212	210	233	40.3	2年4万丰口
265H52	SMF	152	1350	519	274	218	241	52.6	2年4万丰口
JIS 規格	国産車用	補水豆	t						
100	124000	SHEW			881	(£0mm)			
2.0	TYPE	容量(Ah)	CCA(A)	L	W	н	TH	ORKal	保証期間
44819L	MF	30	330	187	127	200	219	9.2	2年4万キロ
44B19R	MF	30	330	187	127	200	219	9.2	2年4万年口
65824L	MF	38	430	234	127	200	220	11,7	2年4万キロ
65824R	MF	38	430	234	127	200	220	11.7	2年4万丰口
85023L	MF	52	580	230	172	200	220	15.0	2年4万丰口
65023R	MF	52	580	230	172	200	220	15.0	2年4万キロ
95026L	MF	56	600	257	172	200	219	16.8	2年4万キロ
95026R 115031L	MF	56	600 710	257 302	172	200	219	16.8	2年4万丰口
115031E	MF	64	710	302	172	200	219	20.0	2年4万キロ 2年4万キロ
34A19L	MF	24	290	184	127	160	174	7.5	1年2万キロ
34A19R	ME	24	290	184	127	160	174	7.5	14277+0
120E41L	MF	88	800	405	173	211	231	25.2	1年2万キロ
120E41R	MF	88	800	405	173	211	231	25.2	1年2万丰口
130E41L	MF	92	900	405	173	211	231	27.0	1年2万キロ
130E41R	MF	92	900	405	173	211	231	27.0	1年2万丰口
130F51	MF	96	850	506	182	209	253	35.4	1年2万キロ
170F51	MF	120	950	506	182	209	253	39.4	1年2万キロ
155651	MF	120	950	506	220	209	253	41.3	1年2万キロ
195051	MF	140	1000	508	220	209	253	43.6	1年2万キロ
210H52	MF	160	1200	519	277	218	268	57.0	1年2万キロ
245H52	MF	176	1250	1111	277	218	268	58.6	1年2万キロ
JIS 規格	国産車用	1000	k式 / 3	アイド			・ッフュ	10円	
品幣	TYPE	5時類率 容量(Ah)	CCA(A)	L	W WE4	i±(mm) H	TH	東東 (明Kg)	4210
K42/60B19L	SMF	30	340	187	127	200	226	9.7	IS車 2年4万キロ 従来車 3年10万キロ
K42R/60819R		30	340	187	127	200	220	9.7	IS車 2年4万キロ 従来車 3年10万キロ
M42/60820L	SMF	34	440	196	127	200	220	10.7	IS車 2年4万キロ 従来車 3年10万キ1
M42R/60B20R		34	440	196	127	200	220	10.7	15車 2年4万キロ 従来車 3年10万キ1
N55/80B24L	SMF	43	500	234	127	200	220	12.6	15車 2年4万キロ 従来車 3年10万年1
N55R/80B24R	SMF	43 56	500	234	127	200	220	12.6	15車 2年4万キロ 従来車 3年10万キロ
Q85/115023L	200.00	56 56	670	230	172	200	220 220	17.5	IS車 2年4万キロ 従来車3年10万年[IS車 2年4万キロ 従来車3年10万年[
G85R/115023F 595/130026L	SMF	60	670 760	257	172	200	220	17.5	IS車 2年4万千口 従来車 3年10万千1 IS車 2年4万キロ 従来車 3年10万キ1
manufacture of the same			760	257	172	200	220	20.0	IS車 2年4万千口 従来車 3年10万千日 IS車 2年4万キロ 従来車 3年10万キ日
S95R/130D26F T110/145D31L		72	820	302	172	200	220	22.9	15車 2年4万十日 従来車 3年10万十日
T110R/145031		72	820	302	172	200	220	22.9	15車 2年4万十口 従来車 3年10万十日
\$34B20R	AGM	28	020	196	127	201	220	11.0	2年3万十日
\$46B24R	AGM	36			125	200	220	13.2	2年3万キロ

収穫

定植

耕うん・代かき

草刈り

ドローンによる

農薬散布・施肥 ドローン以外の

農薬散布・施肥

収穫

定植

耕うん・代かき

草刈り

ドローンによる

農薬散布・施肥 ドローン以外の

農薬散布・施肥

回答者数

(人)

1,470

1,157

1,129

531

498

497

回答者数

(人)

1,470

1,157

1,129

531

498

497

業者のうち、今後スマ

ん・代かきでは「40

提供している976事

現在スマート農機を

2,000円

5.6%

6.1%

3.3%

34.5%

36.7%

38.0%

6.5%

4.3%

3.9%

1.9%

1.0%

12,000 ~

14,000円

作業別の単価分布

4,000 ~

6,000円

4.4%

17.2%

22.8%

8.9%

9.8%

15.1%

12.0%

1.1%

2.0%

0.9%

0.4%

0.2%

16,000 \sim

18,000円

2,000 ~

4,000円

2.9%

5.6%

9.7%

24.5%

46.4%

33.4%

9.1%

2.0%

2.7%

2.3%

0.4%

1.0%

動走行又は直進アシス

ト機能付きの田植機や

14,000 ~

16,000円

8,000 ~

10,000円

5.2%

19.9%

17.4%

4.9%

1.2%

2.4%

32.9%

4.0%

3.5%

4.5%

0.2%

1.4%

マート農機以外

20,000円

全

6,000 ~

8,000円

3.7%

22.5%

20.9%

7.2%

2.4%

3.4%

9.9%

1.1%

2.0%

1.1%

0.2%

0.8%

18,000 ~

20,000円

や慢性的な人手不足か

農林水産省は作業 や生産性向上支援

農業従事者の高齢化

ス事業を行っている2

10.000	盆がに昨日
10,000 ~ 12,000 円	登によると、同時によると、同時年11月に行
6.2%	と、同じ
14.4%	显行;
10.0%	リカト
4.9%	トたービ調
0.6%	が 明
1.2%	明らかとなっ
	<u> </u>
無回答	こなった
無回答	なった。
1.6%	なった。 8/7
1.6% 1.8%	7 多で
1.6% 1.8% 1.9%	7 多で
1.6% 1.8% 1.9% 4.5%	- S うく、 2. 以 S

な料金などにより適正 4割弱は地域の慣例的 167事業者のうち、 79・9%と群を抜いて物別では「水田作」がビスによる売上は、作 上位を占める 有償の農業支援サー

▽サービス内容は収穫 など専門作業受託型が (5・7%) と続

作業別では、

1%)、「草刈り」(24・ うん、代かき」 植)」(53・4%)、 穫」(67・8%)、 託型が上位を占めた。 定定

(出所:農林水産省)

いる機械は「トラク では「ドローン」(23・ ▽提供機械の多くはス ト農機ではない収穫機 (48・7%) ・田植機 (30・7%) が上位を サービスを提供して 以降も、スマー 草刈機 % 格が高い」(49・2 げられた。 %、提供意向ありは3 意向はない」が64・2 は、「今後も提供する ない1191事業者で 農機の提供を行ってい (24・2%) だった。 29 2 % 方、現在スマート 「必要性を感じな

000世~8000 円」(22・5%)、耕う 9%)、定植では「6 ▽価格設定について 「2万円以上 (32・ 単価は、収穫では 売上の割合は、 める農業支援サービス

%。提供したいスマー 能付きトラクタ」(40・ 向がある」は53・4 「増やす意 では「2000円未 施肥では「2000円 00円~6000円」 (22・8%)、草刈り 4000円 (46・ 準 間を通じた業務量の平 金確保」(40・0%)「年 には、「人員不足」(55・

%)、ドローン以外

ト農機は「ドローン」

動走行又は直進アシス 刈機」(28・4%)、「自 ト機能付き収穫機」 田植機」(33・6%)、 「リモコン又は自動草 農水省

設定できず/経営全体 ▽4割弱は適正価格を に占める売上割合は半

%)、「農業者から理解 域の慣例的な価格以上 を得られない」 きていない理由は、「地 が35・7%あった。で 答が61・1%ある 数以上が「25%未満」 方、「できていない」 「できている」との回 適正な価格設定が 62 8 43 •

当たり」を基準にする 的な単価設定について 事業者が大半で、具体 ぞれ最も多かった。 (38・0%) が、それ 「2000円未満」 また、単価は「10%

金」を参考にする割合は「地域の慣例的な料 の農薬散布・施肥では

挙げる声が多かった。 >サービスを提供する 支援サービスの課題 また、経営全体に占 化 (37・9%) を が56・0%だっ 「機器導入の資 For Earth, For Life Kubota 届け、田植えの未来へ。 NAVIWEL 株式会社クボタ

進めているが、